



# 市整会

## 会報

大阪市立大学整形外科開業医会

No.65

2020年7月21日発行

医療法人 孝瑛会  
西沢整形外科クリニック  
〒599-8114 堺市東区日置荘西町1-15-23  
TEL072-288-2001 FAX072-288-2002

## 巻頭言

市整会 会長 西澤 徹 (昭和62年入局)

中村教授をお迎えし、盛会を得た新年会が遠い思い出に感じられるほど、日本ははまだCOVID-19の長い禍の中にいます。

会員諸氏におかれましては、感染症対策、雇用対策、経営の見直しなど心身をすり減らしつつ日々診療されていることと存じます。さらに仲間と会えないストレス、講演会も軒並み中止で学問に対する飢えを感じてられるのではないのでしょうか。

その緊急事態宣言解除間もない5月23日、ハルカス会議室で行われた理事会・総会において、天野祐一先生の後任としてご指名をいただき会長に就任いたしました。皆様にお顔を合わせることもなく、紙上で失礼いたします。

浅学非才かつ直情径行の私に、伝統ある市整会の会長職が務まるのか不安でしかありません。何卒、皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

入会時、会長であられた長田明先生に「市整会会員の間に上下はない。開業医として皆等しく助け合って、高めあうんや」と激励いただいたことが忘れられません。歴代会長も会員が一体となることで、個々が研鑽し集団としての「力」を向上させるべく腐心されてきたように思います。

この春まで大阪臨床整形外科医会の理事を務めました。他大学は当会をとっても意識しリスクトしていることを強く感じました。今後の厳しい医療環境の中で、会のパワーを利用しない手はないと考えます。

この度のCOVID-19禍における、緊急アンケー

ト調査の実施、各種助成金の案内送付などは組織力と軽快なフットワークを示す好例でしょう。

次々起こる諸問題への素早い対応を心掛けます。そのためにも「情弱」とならぬよう、皆様におかれてはネット環境を整え、市整会メーリングリストへの参加を熱望します。

またこのような活動には会員の協力が必要です。即ち、各種行事への参加と意思の表明です。多種多様雑多な意見こそが会の生命線と信じます。

学術講演会、文化講演会、日帰り旅行、新年会など多種多彩な行事を用意しています。特に講演会では後援メーカーの規制厳しくなる中で、毎回日々の診療に役立つニッチで尖った演題を掲げ、評価をいただいていると自負しております。

10月の文化講演会で行事再開の口火を切ります。帰還間近の「はやぶさ2」に関する講演です。家族会も控えております。そして楽しい新年会。ぜひご家族も巻き込んで市整会に浸かってご堪能ください。

3年後には創設50周年を迎えます。誇り高く準備を進めてまいります。

諸先輩が営々と築き上げられた輝かしい会の歴史に想い馳せるとき、時代を先取りし更なる高みを目指すべく、大きな使命を感じます。粉骨砕身努力する所存です。

皆様には市整会を大いに活用していただければと思います。

# コロナ関連

市整会 副会長 増田 博（昭和57年入局）

皆様、こんにちは、昭和57年卒の増田博です。羽曳野市古市駅前で開業して今年で、26年目となります。前期に引き続き副会長をさせていただきます。本来であれば、天野会長と一緒に引退するべきだったかもしれませんが、もう少し市整会のために尽力したいと考えています。私は、前期は大阪臨床整形外科医会の会長も兼任していたので、ここ2年間はどうしてもそちらの行事のほうに手を取られることが多く、申し訳なかったと思ってます。これからは、市整会に対して全力を尽くしていきたいと考えています。

さて、2月頃から新型コロナウイルスが全世界中で猛威をふるっています。諸外国ではとても悲惨な状態になっていますが、日本も例外ではありません。経済だけでなく、社会の全分野に影響を与えました。もちろん医療に対してもです。コロナ患者の受け入れで大変だった医療機関。コロナ患者が発生して休診を余儀なくされた医療機関。コロナ患者が発生していなくても、自粛要請、出控えて来院患者さんが減った医療機関。

当院は、コロナ患者さんの発生はなかったのですが、来院患者さんがとても減りました。4月は、3割から4割減でした。患者さんが少ないので院内にいても、僕もやることがない、職員もやることがない、院内の片付けとか整理とかもやり尽くしてしまいました。たまたま、そのとき、小竹先生がメールに書いていた雇用調整助成金に目をつけました。職員に説明をして、4月の20日頃から事務、看護師、理学療法士を含むトレーナーの各部署で、何人かずつ休むように指示を出しました。多いときで、事務2人、看護師2人、トレーナー2人ずつが毎日交代で休むこととしました。

申請に関しては、当院で契約している社労士事務所に相談したところ、申請はするけど手数料を事務所が取ったら、当院に入るお金はとても少なくなりますよと言われ、自分で申請をすることにしました。なにせ、時間はいっぱいあります。ネットでいろいろな資料を取り寄せ、動画で、実際の書き方も習い、いろいろと資料作りをしまし

た。

そして、資料作りでわからないことができたので、4月の末頃にハローワークに問い合わせをしたところ、電話での対応はできない、予約を取りますから、来てくださいとのことでした。でも予約は、昼休みに行きたいというこちらの事情もあり、5月18日の月曜日になりました。

それまで、資料作りをしていたのですが、ひと月の締めが、一月単位なのか、給料締めの15日で締めるのかわからなかったので、いくつものパターンの申請書を用意して、5月18日にハローワークに向かいました。ハローワークはごった返しているかなと思いましたが、予約制のためか、非常にすいていて、約1時間丁寧に申請書類に目を通してくれました。ネットで調べた申請に必要なものと若干変更があったみたいですが、足りない資料を2日後に持ってきてくれれば受理しますとのこと、2日後にその資料を持って行ったところ、また、丁寧な対応で受理してくれました。話によるとハローワークから大阪労働局に申請書を送り、そこで審査を受け、うまくいけば1ヶ月後くらいに支給が決定される。不備があれば連絡がある。支給が決定されれば、2日後くらいに振り込まれるとのことでした。

この助成金だけで、赤字分が補填できるわけではありません。私の給料も減らしたし、夏のボーナスも半分位にするつもりです。でもこの状態が、ずっと続けば、とても持ちません。5月は少し持ち直しましたが、まだ、半分くらいの回復です。これから6月7月どうなっていくのでしょうか？ これからの診療のあり方、リハビリのありかたを考えていかないといけないと思います。とりあえず、6月からは院内勤務の理学療法士の一人を訪問リハに回ってもらおうと考えています。

さて、次は、暇になって、良かったことを書きます。

今までは、木曜日、土曜日はいろいろな研究会、研修会があり、家で夕食を食べることがまず

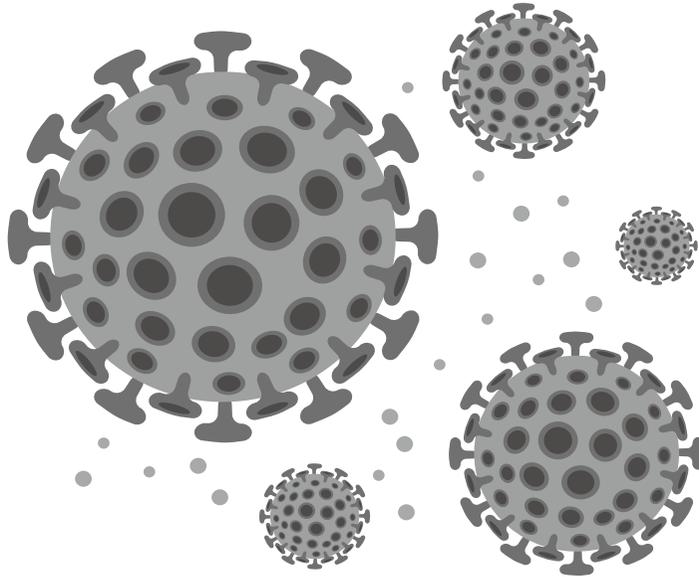
なかったのに、早い時間に自宅に帰って、家内と一緒に食事をして、録画してある映画を一緒に見たりするようになりました。また、外で飲むことがなくなったので、自宅で飲むお酒の量が増え、次々と空き缶、空き瓶が増えてきました。

土日に家にいる時間が長くなり、家内と散歩したり、テニスのボレーボレーをするようになりました。

それとテレビで新垣結衣が宣伝をしていたリングフィットアドベンチャーを購入しました。任天堂スイッチを持っていないのに、5月の連休にリ

ングを入手しました。家電店に5月3日の朝の開店時間と同時に電話をしたところ、在庫があると聞いたので、車を飛ばして、手に入れました。問題はスイッチです。これも、あちこちの家電店に抽選の申し込みを家内と共にして、何回か後にやっと当選して5月25日に手に入れることができました。その後、帰宅時間が早いので、毎日のようにリングフィットアドベンチャーをして、とても健康的な生活をしています。

以上コロナ関連でした。



# ポストコロナに向けて

市整会 福利厚生担当 副会長 馬野 隆信（昭和58年入局）

新型コロナウイルス感染症については緊急事態宣言が明けてもまだまだ大変な状況が続いております。罹患された方にはお見舞い申し上げます。感染者の診療・介護に直接携わっておられる医療従事者の皆様に感謝申し上げます。

整形外科の診療所であれば、新型コロナウイルスに対しては、診ない・診られない、出さない、の姿勢で、日々の診療を続けておられるかと思えます。国保連の調査によると、受診の手控えで86.5%の医療機関で保険診療収入が減少しており、減少幅31%以上の医療機関は約26%であるそうです。当院では通所介護施設を運営しておりますが、4月の介護報酬では前年同月比44%減でした（前年同月比5割を切ると持続化給付金の対象となるのですが惜しくもそこまでならなかった）。

リハビリ特化型の通所介護施設は普通のアスレチックジムと同じ様な施設内容ですので3密を考えると致し方ありません。利用者様が少なくなった分結果として3密は避ける事が出来て、気をつけながら続けて来られました。

介護施設でもクリニックでも個別運動療法については、PTがマスクやフェイスシールドを装着して少人数・短時間で実施するのも日常となってしまうました。

デイサービス部門は営業自粛が利用者様の運動機能や認知機能低下に直結する為、対策を講じながら通常通り続けさせて頂きました。食事やリハビリの際のパーティションなども今はすっかり現場に溶け込んでおります。ただ、認知症の方にとっては環境の変化というのは受け入れ難いものもある様で、その対応がこれからの課題です。

この度の新型コロナウイルスとの戦いはよく第二次大戦時になぞらえて論じられております。例えば、軍需品を統制する国家総動員法→マスク・アルコールの再販禁止、国防生産法→異業種の医療機器生産、女子挺身隊→ANAのCAさんの防護服縫製、学徒動員→イタリアで医学部学生が医療現場へ、物資供出→雨合羽の供出依頼、「勝利のため・お国のため」という大義名分→「健康・衛

生のため、安全のため」、「兵隊さんありがとう」→「#医療関係者にエールを」、人々は防空頭巾（マスク）を被って防空壕（在宅勤務）で息をひそめている、等等、確かに現在は戦時を体験していると言っても過言では無いようです。

終戦後の様に新型コロナウイルスを経験した人々の価値観はそれまでとは全く違うものになってゆくのでしょうか。「新しい生活様式」と共に診療所も新しい様式での運営が迫られます。在宅の方や内科的慢性疾患であればリモート診療でも対応してきましたが、整形外科疾患の急性期などはやはり直接診療で無ければ対応困難です。それでも、診療所の場合には保険診療のIT化、リモート診療等について時代の変化に対応してゆかねばなりません。IT導入補助金も活用するなどして、これからの整形外科診療所のかたちを再構築してゆく必要があるようです。

今回のコロナ惨禍においては多くの助成金・補助金が国債を発行して賄われております。この原稿を書いている6月中旬には31.9兆円の第二次補正予算案が可決されました。過去の赤字国債と併せて未来の国民に回る負債についてはその返済のため、戦後の新円切り換え～預金封鎖があった様に、次の預金封鎖はあるのでしょうか。マイナンバー化された日本国民の預金を対象に預金封鎖がなされる事態は、戦後処理として可能性はゼロでは無いかもです。コロナ危機により世界大恐慌レベル以上の経済危機に陥るといわれておりますが、「耐え難きを耐え、忍び難きを忍び」乗り切ってゆかねばなりません。

ポストコロナの構造変化においては、コロナという強い「外圧」によって思い知らされた（奇しくもアベノマスク配布や特別定額給付金で露呈した）日本の脆弱なシステムを始め様々な構造改革がなされてゆくものと思われれます。新しい時代の変化に対応し、整形外科診療所がポストコロナでどの様な立ち位置でどの様な役割を果たしてゆけるのかを模索しつつ、共にこの全世界的危機を乗り越えてゆきたいものです。

# コロナと暮らす日々

天野 祐一（昭和57年入局）

思い起こせば昨年末には、ヨドバシカメラや泉の広場、エスト1に次々にフードコートがオープンし、街には活気があふれ、やれ忘年会や、新年会といったような景気に沸いていたものですが、、既に6月も下旬に入り、この半年前とのギャップに今更ながら呆然としてしまいます。

覚書きを見ていますと、年の始めにはそこそこ忙しい仕事の合間に月に3度ほどは箕面の109シネマズの映画を見ていましたし、ゴルフ場へも月に一回は行っておりました。

昨年12月に中国武漢発祥のコロナウイルス感染症が報告され、1月12日には初めての死者が伝えられましたが、その頃にはすでに彼の地では病院の呼吸器科病棟の許容量の限界となり、診てもらえない患者さんが追い返されているニュースが報道されました。そして1月23日人口1100万人の武漢市の都市封鎖が発令されました。社会主義国はエラいことするなーとおもっていました。

その頃はまだまだ悠長に構えており、虫歯になって本当に久しぶりに歯医者さんに通うことになったり、20年使っていたマイクログが壊れて買い換えたり、1月の終わりの市整会新年会が盛況に開催されて、にわかには発生したコロナの話題で大丈夫かいなと言っていました。

2月3日に横浜港に入港したダイヤモンドプリンセス号から一気に毎日のトップニュースがコロナの話題になり、武漢のツアーのガイドが大阪に帰ってきて（おそらく）大阪市立総合医療センターに入院しているというあたりからガラリと雰囲気が変わってゆきました。

それでも2月は仕事もまあまあ忙しかったのですが、2月下旬の有志でのゴルフ旅行を「どうするねん見送るーか」で中止になりました。

2月下旬に大阪の、しかも都島区のライブハウスでコロナ感染者の集団発生が発覚してライブハウスは2月29日から休業に入りました。当院は都島区で2キロほど離れていますが、これを見た患者さんがサーッと潮が引くように減ってゆきました。患者さんの中にはその近くの大衆芸能のライ

ブハウスに通っているヒトも有り、もしかしたらの話が広がってゆきました。「あそこのマンションでコロナが出たらしい」「あの店が入っているビルで出たらしい」などと患者さんが待合室でしゃべっていました。

3月にはクルーズ船の3700人のうち感染者が延べ700人にもなりましたが、海外の乗客もほとんどが帰国し、国内の旅客もそれぞれ隔離施設から帰宅してゆきました。この間日本政府の対応が世界の目にさらされ批判的になりました。高齢者、呼吸器系の患者、高血圧症患者、糖尿病患者の死亡率が高いとの報告もありました。

海外でもまずイタリアが、そしてヨーロッパ諸国に感染者が増えてゆきました。イタリアに多数の感染者が出た原因は色々あるでしょうが、曰くマスク着用しない、大家族同居である、ハグの習慣、靴を脱がない、個人主義である、ICUのベッドが少ない、中国人ワーカーが春節から帰国して拵がった等々があがっています。しかし彼の国は医療先進国でもありこれからの検証を待たねばなりません。その後のアメリカでの蔓延はひとえに医療保険制度の貧弱さによる受診抑制がベースにあると考えます。

日本ではPCR（ポリメラーゼチェーンリアクション）検査の実施が絞られていましたが、インフルエンザ流行期の休日診療所の現状を思い浮かべれば、他国のテレビ映像のように行列を作って検査を受ける事の危険性を抑えた結果であることは理解できます。

そんなこんなで3月に入るとジワジワと患者さんが減っていきました。特に10日火曜日の雨の午後診など絶望的に少なかった事を覚えています。しかしその後もかつて記憶にないほど患者さんは少ないままで移行していました。3月14日の市整会学術講演会はもちろん中止になりました。通っているフィットネスクラブも閉鎖になり、昼休みを持って余すようになりました。汗をかいてシャワーして一休みする、というほんの些細な習慣が日常から消えてしまい、つらいものがありました。

それではと喫茶店へ行くと、ここも4月から自粛すること。急遽クリニックにベッドを持ち込みました。3月の実績は、レセプト枚数11%減、診療報酬13%減、来院患者数15%減でした。

3月下旬の飛び石連休ではコロナ自粛に倦んだ人達が外出をし始め「ゆるみ」とか言われて非難され、自粛警察という言葉もマスコミで見られるようになりました。テレビでは連日のように「どこどこで何人発生」という話ばかりで、4月16日にはいよいよ大阪府にも自粛要請が発せられました。既に梅田などには近寄ってもいませんでしたが、行きつけのバーも自粛休業となり閉店の可能性もあるようでした。こんなおっさんが気軽に回る店は貴重で、無くなってしまうのは困ります。4月は、レセプト枚数14%減、診療報酬21%減、来院患者数31%減でした。

ゴールデンウィークはどこへも行かず、タケノコ掘りや庭仕事の日々に、伐採した丸太を薪に切りそろえて、するあても無いのにたき火用にストックを作りました。いつの間にか垣根の紅カナメモチが開花し、モッコウバラと共に白い花の共演で春の庭の花壇や鉢植えがお花畑になりました。

こんなことで現実逃避をしながら5月に突入するも4月に続いて暇な日々。物療患者さんが家族に言われて来院を控えるようになり、午前診よりも午後診の減少が落ち込み、6時半には患者さん

がいなくなることもありました。

自宅と診療所を往復するだけで飲みにも行かず、土曜日毎にあったメーカー絡みの講演会は軒並み中止、大学主催の研究会や中部整形外科災害外科学会もウェブ開催となりました。5月はさらにひどくなり、レセプト枚数17%減、診療報酬19%減、来院患者数32%減となりました。

投薬は以前から2週間投与から殆ど30日投与になる傾向でしたし、物療に来ていなくても我慢するという患者さんも増えてきました。リハビリ施術、レントゲン撮影や血液検査、注射などリモートでは出来ないことばかりでは敬遠されるのも仕方ないようです。

しかし止まない雨はなく、日はまた昇ります。患者さんも戦時中を知っている方はどっしりしたもので、「エエ時もあれば悪い時もあるでしょう」と教え諭してくれます。さすがに6月になってからはコロナの押さえ込みに成功して徐々に日常生活が再開されていますが、抗体検査で陽性率の低いのも気に掛かります。

おそらくコロナ以前には戻れないでしょうが、正しく恐れて対処するしかないようです。

ガラガラと書き連ねて参りましたが、飯が食えなくなる所までは来ておらず贅沢をせずに「足るを知る」生活、つまりコロナ騒ぎで現在過ごしている生活、で生きてゆきましょう。



# コロナ戦記

小竹 志郎（平成11年入局）

我々町場の整形外科には感染症に伴う筋痛や関節痛が多数来られます。当院でも例年そろそろインフルという時期が来ると、高齢者やRAのバイオ投与者への感染対策として来院全患者に検温してきました。大した誘引のない変な筋痛患者が増えだすと、大抵来院まで検温もしておらず、37.何度と聞いて驚かれる方や、何割かは次回受診時に翌日からやっぱり熱出ましたという方もあり、NSAIDを避けてコロナールや葛根湯でお茶を濁しつつ、ベテランスタッフたちと今年も来たねーと言って、新人さんたちに手洗い等の再指導と体調管理を徹底してきました。県の感染症情報センターのインフル統計より2週くらい早くから増え始める印象です。

それが今年は正月明けから、軽い肺炎で入院してたのと言って予約日延期されたような患者が妙に多く、皆インフルじゃなくてよかったわーと笑っておられました。ただ、地域柄、観光客だけでなく、国際的な研究者やビジネスマン、留学生、単身赴任等々とにかく患者さんの総マイル数が半端ない立地でもあり、武漢の話がぼつぼつ出始めたおり、もしやとは思っておりました。

そして僕自身も成人の日の連休、秋田へのスキー帰りの機内で、後ろの席でマスクもせずに空咳し続ける輩に遭遇してしまい、送風全開でにわかエアカーテンにしましたが、翌日しっかり一日だけ熱発しました。

マイコでも貰ったかなと思ってましたが、微妙な倦怠感や咽頭部の違和感は数週続き、同時期例年インフルではほぼ倒れないベテランスタッフたちにも同様の症状が出ていました。まだ国内初のバス運転手の判明前のはなしです。

その後は熱発者別室診療、2月末からは患者予約やりかも制限したりで、点数的にはすでに2～3割の減が見えており、政策金融公庫への無利子融資の段取り等は進めながらもなんとか平穏に診療しておりましたが、3月下旬ヨーロッパに火がついたころから様相が一変しました。

なぜか変な偽痛風様関節炎患者が増え（後ほど

クルーズ船の無症状者に偽痛風様関節炎がいた旨の論文見ました）、膝だけでなく下腿広範の腫脹や足趾の色素沈着のような変化がある方もいて？ だったのですが、今にして思えば血栓系の症状であったのかもしれませんが。

そのころからまたスタッフやその家族にも軽い咳や下痢等の症状がポツポツ出始め、体調不良者と県外からの通勤者に自宅待機命令を出した矢先、4月5日にその待機者のご家族からPCR陽性が出ました（ご実家は内科開業医で当然対応に追われており、僕もなんとTVニュースで気づいた次第）。翌日には本人の陽性も確認され、うちも臨時休診とし奈良市保健所と協議の結果、自宅待機後4日過ぎでの発症で当院は濃厚接触者には当たらず通常診療可ということになりました。

ではありますが明らかにただ事ではなく、その時点では（今でも？）信頼できる抗体検査も入手できそうになく、体調万全の少数スタッフのみの出勤で、予約外受付を停止、予約患者には片っ端から電話して診察の延期と近隣薬局への処方箋FAXをしていきました。その間数多おきてくるトラブルに出たところ勝負で対処中、むしろ今まで延び延びになっていたIT対策が一気に進んだ感があります。

例えば電話とFAXが早々にパンクしたのでeFAXと050 plusというネットからの回線を確保し、僕の指揮下でクラークスタッフ5人がかりで電話再診に当たりました。自宅からも電子カルテにリモートで入れるように設定し、これで途中僕も微熱のでた一時期自宅待機しながら指揮をとりました。

またクリニック名でLINEアカウントを作成し患者さんとどこからでも動画で話せるようにもできました。これでオンライン料金とって何も問題無しだそうです。オンライン診療は業者に任せるとただでさえ通常より安い診察料に高い手数料とられるみたいですね。うちのなんちゃってオンラインだと自己負担分はまた次回来院時となりますが、それでもほぼ閉院状態の4月に通常の3分

の1でも売上確保できたことも大きいのですが、その時のお支払いに行かなくちゃ、と今6月の来院数の復活につながってるのに助けられています。

実はうちでコロナ出たーという根も葉もある噂は翌日には地域を駆け巡っていたそうですが、5月連休明けから徐々に通常診療を開始しましたが、これらの対応もあり今ではむしろしっかりやってくれたという感謝の言が優勢で患者さんがよそへ逃げた感はほぼないように思います。さらに6月に入り緊急事態宣言が解除されてもFAX処方も電話再診も積極的に継続しており、例えば来院時には骨量、XPや血検、注射等どうしても人体に必要なモノをみっちり詰め込み、次週血検結果見て電話で処方変更等のパターンが出来てきて、来院回数を減らすことで院内の三密を回避しつつ、実来院数は以前の半分以下のままでほぼ点数は8割超まで回復してきました。

こうして経営的には先の見通しはなんとかあったもの、恐怖の4月売上の上金はこの6月末ですから、ここをなんとか乗り切るには先の国金融資（これはごく簡単な面談であっさり5月初旬に早々入金されました）と噂の雇用調整助成金、（悪名高い手続きの煩雑さで、毎月大分改善してきてるようですが、なにせ雇用保険のないパートさんは緊急雇用安定助成金という別制度で当然書類も別、事務長嫁が大分泣かされてました）と持続化給付金でなんとかというところ。定額給付金の10マンはまだ入る前からステイホーム中に久々に再燃したDIY熱によりDEWALTのインパクトドライバーやBOSCHのルーター等々に消えてしまいました。

まだまだこれからどうなるか再流行時も視野に入れ対応していかなければなりません、そろそろ2ヶ月ぶりのゴルフでも行ってみようかなとようやく思えてきた今日この頃です。



# 市整会会員対象 コロナの緊急アンケート調査結果

市整会 広報 宮脇 裕二（昭和55年入局）

コロナウイルスの整形外科診療所に対する影響を調べるため急遽アンケートを取らせていただきました。JCOAがもっときっちりした形のデータを出されると思いますが、市整会としては、会員各位の現状と他はどうしているのかな、など皆様が知りたい情報をなんとか少しでも早く届けられればと思い始めた次第です。各種研究会もほぼ中止ですので、情報収集もままならない状態です。その為、このアンケートはJCOAのものより、より具体的かつ踏み込んだものになっています。この結果が会員各位の診療の少しでも助けになれば幸いです。

急なお願いにもかかわらず、合計36名の先生からお返事をいただきました。

本来ならば、もう少し分母を増やして統計的にみた方が良いでしょうが、速報としてのデータも重要ですので、4月30日で締め切らせていただきました。

診療所の地区別に申しますと

大阪市内	12/36
大阪南部	13/36
大阪北部	3/36
大阪東部	1/36
兵庫県	3/36
奈良県	3/36
和歌山県	1/36

なお、急いでやりましたので、数字が合わないとか、がアろうかと思いますが、小さなことには目を瞑ってください。それから紙面の都合上、原文を少し変更して掲載させていただいたことをお許しください。

令和2年4月30日

## 1) 感染対策

感染対策は各クリニック100%しておられます、従ってこの項目は数字を出さずに、具体的な手法をならべてゆきたいと思います。

- ・入室時の手指のアルコール消毒、手すりなどの院内施設のこまめな清掃
- ・体調のこまめな問診
- ・ベッドなどはひとり診察ごとに掃除
- ・時間を決めて1時間おきに掃除
- ・消毒液：市販のエタノール・イソプロピロアルコール、次亜塩素酸、ルビスタ など
- ・無水エタノールを70%になるように精製水で希釈。次亜塩素酸系を自作
- ・マスクの着用。N95も使っているところが1箇所あり
- ・入室時全員マスク着用、持っていない人は100円で販売
- ・持っていない人に自家製マスクを渡す。キッチンペーパー、輪ゴム、ホッチキスで作成
- ・受付のコロナシールド：ビニールシート（ホームセンター）をつっかえ棒やニトリのコートハンガーに固定
- ・アクリル板でバリアー、注文で入荷待ち（1ヶ月）
- ・受付前の足形マークの設置
- ・換気：窓の開放、入口の開放 → 寒い。サーキュレーターの使用
- ・診察室に原則一人しか入れない
- ・空気清浄機 プラズマクラスター：特にレントゲン室など閉鎖空間では患者さんが安心する

## 比較的少数派の対策

- ・体温測定：非接触型
- ・診察券の末尾の番号が偶数か奇数かで時間を分けて、患者の混雑緩和
- ・フェイスガードの使用

- ・患者に触る機会のあるひとに、焼肉屋で使う使い捨て前掛けを装着

## 2) 貴院で不足しているもの 回答数：29

- ・マスク 23/29
- ・消毒用エタノール 19/29
- ・防護服 10/29
- ・ゴーグル 5/29
- ・特に不足なし 1/29
- ・代用品
  - ワークマンのゴーグル
  - 工場用の帽子
  - 防護服には一番安い雨具、上下500円くらいを使い捨て
  - 100均のレインコート、ポンチョ

やはりマスクと消毒液が不足しているようです。

## 3) 収支 回答数：36

単に何%減との回答が多く、患者数と収益は同様に推移するとして、3月と4月では、通常は4月が悪いので3月と4月のデータをいただいた方は、悪い方を取りました。全体として何%減少とされた方と合わせる為です。数字は四捨五入しています。それから、数字なしで単に減少と書かれた先生もおられましたのでその数は別に書いています。

- ・10% 1/36
- ・20% 4/36
- ・30% 10/36
- ・40% 8/36
- ・50%以上 4/36
- ・減少とのみ表記 9/36

これはかなり大変な数字です。

## 4) 助成 回答数：24

- ・雇用調整助成金などの使用 5/24
- ・本政策金融公庫、自治体などの融資
- ・予定なし 11/24
- ・考えている 5/24

## 5) 雇用 回答数：31

- ・従来どおり 8/31
- ・給与の減少 休業補償 11/31
- ・有給休暇 8/31

## 6) ボーナス 回答数：12

- ・満額 2/12
- ・減額 7/12
- ・未定 3/12
- ・リストラ 1
- ・時短 2

## 7) 医師会での活動

- ・PCR検査に出動 2件
- ・軽症者のホテル担当 1件

## 8) 院の閉鎖、リハビリの休止

### 閉院

- ・わからない。スタッフや患者の感染。コロナ感染で保健所の指示で
- ・雇用の問題があるので閉めづらい
- ・感染拡大がさらに広がった時。院内でクラスターが発生した時

### リハビリの休止

- ・院全部が休む時
- ・完全予約にして継続する
- ・既に閉めている（3件）
- ・どのようになったら、リハビリを中止したら良いのかむしろ教えて欲しい
- ・リハ患者が極端に減ったら中止する

## 9) 電話、ネット診療 回答数：21

- ・既に施行中 2/21
- ・電話再診察 9/21
- ・施行予定なし 10/21

- ・050plus
- ・eFax

## 自由記述欄の意見

- ・とにかく患者が減っている。5月も続けば大変なことになる
- ・風評被害が怖い
- ・こういう時こそ市整会の会員同士がメールで情報交換すべき
- ・ネットのマスクの作り方を参考にマスク自作しています
- ・コロナ後もいつも通りには戻らないでしょう
- ・皆で頑張りましょう
- ・次亜塩素酸水は自作がおすすめ
- ・トイレは蓋をして流す
- ・他院がコロナ発生で閉院しても医師会に連絡がなければ、わからないので、そこからの患者流出、自院への流入が怖い
- ・患者さんからいつもと違う意見、クレームを受ける。こんな状況で働いていていいのかとか。スタッフに対しては雇用の件も含めて丁寧な説明と可能な限りの安全策をとっていることの説明
- ・我々の業界よりもっとひどいところがあると思えば頑張れる
- ・開業間なしの先生は大変です。先輩に気軽に声をかけて、相談してください
- ・院長は元気に振る舞うこと、自ら先頭に立って感染に立ち向かう姿勢を示すことが大事。シー

ルドや消毒液の作成は院長がする

- ・高齢期に入っているのも若い先生と対策が違うと思います。若かったらもっと頑張るのだが
- ・自分たちも心配だが、最前線に立つ、医者になった息子らが心配
- ・院内でコロナが発生した時、具体的にどうすれば良いかわからない
- ・自分になったら、閉めるしかない
- ・今後も元に戻らないだろう。年齢を考えてダウンサイジング
- ・PCR検査ができない
- ・最前線で治療にあたる医療従事者は本当にご苦労様です
- ・死亡者数の少なさは世界トップレベル。政治が現場に追いついていない
- ・年齢的に完全な対策は無理

アンケートをまとめてみましたが、いろいろな選択肢を置いたために、全てに答えていただいている方は少数でした。そこで数字が必要そうところはできるだけ数えましたが、全体としては、各先生方の個人の意見をできるだけ尊重した形となっていますので、JCOAのアンケート結果とは少し異なる形ですので、ご参考になればと思います。



# ZOOMミーティング

IT委員会 斧出 安弘（昭和56年入局）

新型コロナウイルスが猛威を振るう中、小さな研修会や講演会は、軒並み中止になり、日本整形外科学会も、リモートによる学会開催となりました。6月に入って、緊急事態宣言が解除されましたが、まだワクチンができたわけでもなく、いまだに息苦しい毎日が続いております。先般、先生方の委任状をいただき、役員だけの総会を行いました。その時に、「今後の会議等について、リモートの会議を持てるかどうか、IT委員会を中心に、取り組んでほしい」と、依頼がありました。

そこで、今一番はやりのZOOMを使って、諮問委員会の有志の先生方にご参加いただき、会議の練習を兼ねた、「リモート飲み会」をしました。

## ZOOMの使い方

ZOOMでミーティングを開くのは、難しくありません。その段取りを、ここにあげます。

- 1、まず会議を開くためには、パソコンにZOOMのソフトを、ダウンロードしておく必要があります。ダウンロードした後は、サインアップが必要ですが、無料でできますし、画面の指示に従えば簡単です。（メンバー全員がソフトをダウンロードしておく必要あり）
- 2、ZOOMを開いて、主催者が会議の日程と時間の設定をします。（設定をする人＝主催者）そうすると、ズーム会議のURLと、その会議のIDとパスワードが出てきます。その、URL、ID、パスワードを、参加するメンバーに、事前にメールで送っておくだけです。
- 3、会議の時間の数分前に、主催者が、そのミーティングを開いておきます。

そこに、メンバーがアクセスすると、「メンバーが待合室で待機」というのが、主催者のパソコン画面に出てくるので、主催者が入室許可をすれば、それで会議がスタートです。

ZOOMミーティングするには、メンバーもパソコンにカメラとマイクが必要です。パソコンに、カメラとマイクがない場合は、スマートフォン、タ

ブレットでも、参加可能です。（その場合も、スマートフォン、タブレットにも、ZOOMのアプリをダウンロードしておく必要があります）

今回、6月20日（土）の午後10時から、ZOOMの練習を兼ねて、「リモート飲み会」をしました。参加者は、西澤新会長、天野前会長、増田先生、宮内先生、木下先生、森川先生、小竹先生と私の8名でした。それぞれ、お酒片手に、お互いの近況を、述べ合う程度のミーティングでしたが、コロナ禍での苦労話とか、保険点数の取り方とか、普段聞けない話が、それぞれの先生方の顔を見ながら聞けたし、カメラの後方に、ご家族が登場したりのハプニングもあり、楽しい時間を共有できました。

ポストコロナは、リモート会議の機会がますます増えると思います。

今後、市整会の諮問委員会や理事会などに、活用できるツールと実感いたしました。



最初は少人数でスタート。久しぶりにお互いの顔が見られたので、大はしゃぎでした



最後は、次回開催の約束をして、笑顔で終了

# 令和2年度 市整会 総会

令和2年5月23日（土）新型コロナウイルスの猛威で予定しておりました市整会 総会を自粛し、議案書を郵送し委任状を頂き、少人数で総会を開催いたしました。

日時：令和2年05.23（土）16時～

場所：リージャスあべのハルカスビジネスセンター

大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 あべのハルカス31F

総会の成立について（森川）

「現在の会員数は、191名です。本日の出席者9名、委任状が137通出ておりますので、会員の過半数を超えますので、この総会が成立しております」

（出席者9名、名誉理事55名（内、委任状27通）委任状109枚、会員191名…総会成立）

参加者（9名）

天野祐一会長、増田博副会長、馬野隆信副会長、西澤徹副会長、鳴嶋真人議長、斧出安弘副議長、安田浩成監査、伊藤智康（会計）、森川献志漢（総務）

## 議題

### 報告事項

#### 1、会員の動向について（森川）

名誉会員（1名）

玉田善雄先生（入局：昭和57年；誕生日：S24.5.12）

死亡退会者の御報告（2名）

頼 功 先生（昭和49年入局）が、令和元年5月16日にご逝去

中村英健先生（昭和44年入局）が、令和元年6月3日にご逝去

齋 吉植先生（昭和33年入局）が、令和2年2月13日にご逝去

坂部賢治先生（昭和55年入局）が、令和2年2月28日にご逝去

（市整会はH23に退会されておりますが、ご報告させていただきます）

閉院の御報告（2名）

桑野吉浩先生（平成4年入局）

くわの整形外科

〒659-0091 兵庫県芦屋市東山町15-12 ネスト芦屋1F TEL：0797-35-1119 0797-25-7775

今後の郵送物：自宅 〒662-0813西宮市上甲東園1-17-5 TEL：0798-56-7013

渡邊徑宏先生（昭和40年入局）

大分県宇佐市の佐藤第一病院（0978-32-2110）から退職され、下記に郵便物の変更依頼がありました。

〒547-0003 大阪府平野区加美南1-2-27 加美グリーンテラス2F TEL：06-6791-1146

もえ眼科クリニック 丸山 萌 様

住所変更（5名）

松本一伸先生（平成15年入局）

自宅電話：072-855-5090 ⇒ 0798-55-4327

山田純司先生（昭和57年入局）クリニックの移転

〒578-0971 大阪府東大阪市鴻池本町1-22 TEL：06-6744-7722（旧クリニックの住所）

〒630-0122 奈良県生駒市真弓2丁目4番8号（クリニックの新住所）

医療法人司誠会 整形外科やまだクリニック TEL：0743-78-0808

中村信之先生（平成12年入局）クリニックの移転

〒569-1121 大阪府高槻市真上町2丁目1-31（旧クリニックの住所）

〒569-1131 大阪府高槻市郡家本町40-12 医療法人 整形外科なかむらクリニック

（クリニックの新住所）

許 国広先生（昭和44年入局）勤務先の変更でしたが、辞職（3/31に）されましたので下記住所でなく自宅への郵送をお願い致します。

〒562-0012 箕面市白鳥1-19-3 ラ・アケソニア（老健施設） TEL：072-727-6514

中川伊佐夫先生（昭和58年入局）

中川整形外科クリニック 〒591-8023 堺市北区中百舌鳥町5丁32 コーポベル1F

⇒堺市北区中百舌鳥町5丁10 コーポベル1F

再入会（1名）

荒木良守先生（平成元年度入局）

医療法人よつば会 良守クリニック

〒597-0073 大阪府貝塚市脇浜1-16-9 イーズセンチュリーセントラルビル302

TEL：072-439-6083 FAX：072-239-0768

自宅住所

〒599-8126 堺市東区大美野11-3 TEL：072-239-0768 FAX：072-239-0768

新入会（1名）

水沢慶一先生（平成10年度入局）

水沢整形外科（開院予定日は5/1（金））

〒561-0831 豊中市庄内東町3-8-16 1F

TEL：06-6335-2888 HP：<https://mizusawa-seikei.com>

自宅住所

〒532-0003 大阪市淀川区宮原2-5-6 TEL：06-7493-6902 FAX：06-7493-6902

総会の郵便にて以下の先生方から追加連絡がありました。（14名）

中塚洋直先生（平成8年入局）市整会名簿の自宅電話番号が古い番号になっているとの事です。

〒565-0851 大阪府吹田市千里山西3-29-18 TEL：06-6318-5418

柳井尚浩先生（昭和57年入局）メルアドの変更依頼がありました。

メルアド：yanai@yanaimedical.com

政田俊明先生（平成10年入局）医療法人社団になった事。自宅電話番号の変更。メルアドの追加

〒662-0844 西宮市西福町5-16-201 医療法人社団 まさだ整形外科

自宅電話：0798-61-1881

メルアド：masada@msic.med.osaka-cu.ac.jp

松本一伸先生（平成15年入局）メルアドの追加

メルアド：m1159567@yahoo.co.jp

水沢慶一先生（平成10年度入局）メルアドの追加

メルアド：clinic@mizusawa-seikei.com

東 晴彦先生（昭和40年入局）現在インターネットに継続されていないとの事でした。

荒木良守先生（平成元年度入局）メルアドの追加

メルアド：kyam365@gmail.com

近藤正樹先生（昭和46年入局）メール追記

メルアド：sp7x6zf9@major.ocn.ne.jp

住所追記：〒558-0041 大阪市住吉区南住吉3-19-27 グレース東山1階

楯憲一郎先生（昭和52年入局）

メルアド：現在はないとの事でした

安田浩成先生（昭和54年入局）住所追記

〒590-0804 堺市堺区緑ヶ丘南町3-2-19 松田ビル1F

田中直史先生（昭和56年入局）メール追記

メルアド：naopfy1955@yahoo.co.jp

阪本博史先生（昭和59年入局）メール、FAX番号変更

メルアド：dugdx923@sakai.zaq.ne.jp

FAX：072-239-0038

小堀肇彦先生（平成3年入局）住所に追記

〒547-0024 大阪市平野区瓜破2-1-6-101 メゾンアコーレ

岩城啓好（平成3年入局）FAX追記

FAX：06-6548-3155

## 2、令和元年度前期事業報告（森川）

H31.04.12（金）諮問委員会

H31.04.20（土）H30度後期理事会・市整会フォーラム（講演会のみ共催：久光製薬）

場所：ヴィアール大阪 3F『華の間』 17時～

出席者19名、委任状29通（理事58名）…理事会成立

学術講演「一般整形外科医のための 骨軟部腫瘍と疼痛」座長：明石健一

演者 社会医療法人生長会 府中病院 整形外科 部長 家口尚先生

R1.05.18（土）市整会 総会（講演会のみ共催：科研製薬）

場所：ヴィアール大阪 『レガート』 16時～

参加：出席者31名、委任状106枚、会員190名…総会成立

学術講演1「脂肪由来幹細胞を用いた新たな関節リウマチ治療法の開発」

座長：小竹志郎

演者 大阪市立大学大学院医学研究科整形外科学 大学院生 上山秀樹先生

学術講演2「最近の審査状況について」座長：宮内晃

演者（医）有馬外科・整形外科 寺川文彦先生

R1.06.15 (土) 学術講演会 共催：旭化成

場所：スイスホテル南海大阪 8階 孔雀 16時～

総合司会：明石健一

参加人数：市整会37名 同門会25名 非会員90名 合計152名

学術講演1「発育期運動選手における腰痛のマネジメント」座長：長濱信一

演者 福島県立医科大学医学部 整形外科学講座助教 医局長 加藤欽志先生

学術講演2「コンタクトスポーツの安全性に対する意識改革」座長：豊川英樹

—ワールドカップ2019を控えたラグビーと他競技の比較—

演者 愛染橋病院 整形外科部長

日本・関西ラグビーフットボール協会安全対策委員

大阪府ラグビーフットボール協会安全対策委員長 中村夫左央先生

学術講演3「ロコモ関連、病診連携での骨粗鬆症治療・テリパラチドの使い方」

座長：西澤徹

演者 宮崎大学医学部整形外科 教授 帖佐悦男先生

R1.06.16 (日) スケルトンコンペ 天野山CC

参加：30名8組

R1.07. 会誌発行

R1.08.30 (金) 諮問委員会

場所：「こんび」 20時～

R1.09.07 (土) 令和元度前期理事会・市整会フォーラム (講演会のみ共催：帝人ファーマ)

場所：ホテルモントレ大阪(梅田)

理事会出席者13名、委任30通；理事会成立(理事60名) フォーラム出席人数：29名

(演者の先生含)

学術講演「関節リウマチの診断と治療～最新の話～」座長：馬野隆信

演者 大阪市立大学大学院医学系研究科 整形外科学 病院講師 岡野匡志先生

理事会費用を協賛メーカーさんが、これまで回収して下さっていたのですが、今回から回収が労務の肩代わりにあたるということで、社内的に出来なくなったとの事であり、執行部の先生方に理事会参加の費用を回収して頂き、その後回収した費用を帝人さんに渡し、会場費に充てる。(今回は、小竹先生にお願いした)

R1.10.26 (土) 第6回これからの整形外科のかたちを考える会 共催：久光製薬

場所：AP大阪駅前梅田一丁目 16時～

会員22名 御家族並びにスタッフ7名(合計29名)

学術講演1「アレルギー性鼻炎の最近の話題」座長：小竹志郎

演者：大阪市立大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科学 病院教授 阪本浩一先生

学術講演2「働き方改革で医療機関の労務管理は何が変わるのか」座長：馬野隆信

演者：社会保険労務士法人エルクエスト 代表社員／特定社会保険労務士

仲田雄大先生

- R1.11.16 (土) 市整会学術文化講演会 共催：日本臓器製薬  
場所：都シティ大阪天王寺(旧天王寺都ホテル) 5階「高取」 16時45分～  
参加人数：会員22名 家族3名 同門会1名 非会員16 合計42名  
総合司会：明石健一  
学術講演：「整形外科医にも知っていただきたいアレルギー性皮膚疾患」座長：西澤徹  
演者 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪はびきの医療センター 診療局長  
兼 皮膚科主任部長 片岡葉子先生  
文化講演：「宇宙医学に学ぶロコモ予防と医療安全」座長：天野祐一  
演者 宇宙航空研究開発機構客員研究員 前宇宙医学生物学研究室長、  
徳島大学客員教授、久留米大学客員教授 大島博先生
- R1.11.17 (日) 市整会家族会 奈良方面  
法隆寺観光と「奈良十三屋」での懐石料理 赤膚(あかはだ)焼き絵付け体験  
参加者：会員16名 ご家族20名 合計36名
- R1.12.08 (日) 市整会ゴルフコンペ 泉ヶ丘CC  
参加人数：5組18名
- R1.12.20 (金) 諮問委員会
- R2.1.25 (土) 市整会新年会  
場所：リッツカールトン 17時30分～  
参加：講演会38名：会員35名、ご家族49名 合計84名  
学術講演：「骨粗鬆症性椎体骨折の診断と治療の変遷」座長：増田博  
演者 大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科学教授 中村博亮先生  
新年会のアトラクション：Cocoroさん
- R2.03.06 (金) 臨時 諮問委員会

## 協議事項

### 令和2年度事業計画 (森川)

- R2.04.17 (金) 諮問委員会  
⇒コロナウイルスの感染拡大で自粛し中止
- R2.04.25 (土) 令和元年度後期理事会・市整会フォーラム  
⇒コロナウイルスの感染拡大で自粛し、メールで資料をお送りしそれで議論し討議する事となりました。  
⇒全60名の理事の先生方のうち35名の委任を頂き理事会成立(委任状を頂いた先生19名 名誉理事の先生方16名)
- R2.05.23 (土) 市整会 総会  
場所：ヴィアーレ大阪 レガード 16時～  
⇒コロナウイルスの感染拡大で自粛し、議案書を郵送し委任状を頂き、少人数で総会を開催する。

R2.05.31 (日) スケルトンゴルフコンペ 天野山CC  
⇒コロナウイルスの感染拡大で自粛し中止

R2.06.20 (土) 学術講演会 共催：旭化成  
場所：ANAクラウンホテルプラザホテル大阪  
⇒コロナウイルスの感染拡大で自粛し中止

R2.09.04 (金) 諮問委員会

R2.09.12 (土) 令和2年度前期理事会・市整会フォーラム (講演会のみ共催：帝人ファーマ)

R2.10.10 (土) 「『これからの整形外科のかたち』を考える会」(健保介護診療担当勉強会)  
共催：久光製薬

R2.10.24 (土) 市整会学術文化講演会 共催：日本臓器製薬  
場所：大阪第一ホテル 17時～

R2.11.15 (日) 家族会  
京都 南禅寺観光、昼食 南禅寺参道 菊水

R2.12.13 (日) 市整会ゴルフコンペ 泉が丘CC (8:08葛城スタート)

R2.12.? (?) 諮問委員会

R3.1.23 (土) 市整会新年会  
場所：リッツカールトン 中村教授の御講演  
参加費を昨年同様頂戴し開催する。

## 2、その他の協議事項

### 1) 人事について

総会での承認で、次期会長に西澤先生が就任。

その際の市整会役員も後述の如くとさせて頂き、了承が得られ成立いたしました。

西澤新会長の挨拶で、10年後を考えて活動していきたいとのコメントを頂戴しました。

2) R2.10.10の「『これからの整形外科のかたち』を考える会」は、新型コロナウイルスの事もあり、6月13日を目指し、コロナウイルスに纏わる雇用調整や感染対策についてメーカー協賛を得ず自主開催でZoom等を用いてネット開催を会員の方々向けに配信することを協議したところ、FaxNetを用いて情報を会員の方々にお送りし、その反響を見て開催することを検討することとした。また、それにまつわることは、馬野先生にお願いした。

3) その他の協議事項はありませんでした。

## 会計報告

### (1) 令和元年度収支報告

令和元年度の収支に関しましては、令和元年度決算額 (p.21)、内訳 (p.22)、市整会資産 (p.24) で、ご確認ください。

なお、令和元年度決算額の次期繰越金 ¥6,563,566と市整会資産の一般会計合計 ¥6,563,566が合致しており、収支において問題ないと考えております。

### (2) 令和2年度予算書 (p.23)

#### 1. 収入の部

令和2年度の予算に関しまして、少しでも皆様の負担を少なくするため、今年度に限り、年会費を1割ではありますが減額し¥30,000から¥27,000にさせて頂きたいと考えております。つきましては、収入の部の年会費収入が、 $¥27,000 \times 160$ 名(全会員191名一閉院31名) $= ¥4,320,000$ となります。また、その他の収入(学術講演会等参加費)は、新年度から2回の講演会が中止となっており、今後の見込みとしまして、¥600,000を計上させて頂きました。

#### 2. 支出の部

収入の減少に伴い、今年度は、各部門の活動費を下記の内容で減額させて頂いております。

総務部：会議費や新年会アトラクション費用等の減額、新年会参加費の増額

学術部：大学への援助金の減額(¥1000,000から¥800,000へ)

福利厚生：今年度のスケルトンゴルフコンペ中止による減額

以上のことから、令和2年度予算額として、

収入の部は、第1款 年会費収入と第2款 雑収入の合計 ¥4,920,100に前期繰越金 ¥6,563,566を合わせまして、合計 ¥11,483,666となります。

一方、支出の部は、第1款 事務費と第2款 各部活動費(※)および第3款 慶弔費を合わせました ¥4,970,000に第4款 予備費 ¥6,513,666を合わせまして、合計 ¥11,483,666となります。

各部活動費の予算額は、令和元年度支出の決算額をベースに計上しております。



# 大学院生 出張補助支出の報告

毎年市整会では、医局大学院生の出張旅費を援助しております。

このたび令和元年度の支出内訳を医局より報告いただきましたのでお知らせします。

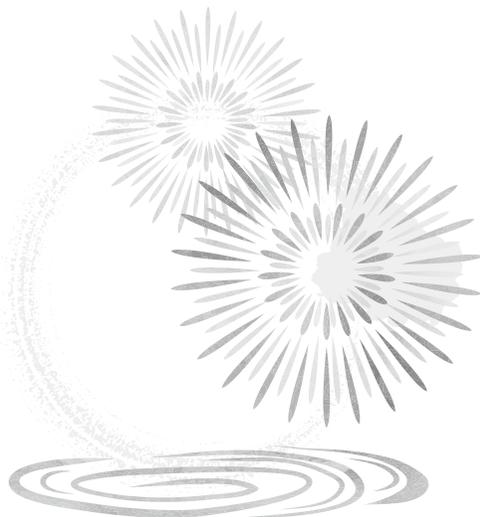
## 令和元年度 大学院生出張補助支出報告

海外 1名	合計	¥100,000-
国内 13名 (22回)	合計	¥372,000-

---

総合計 ¥472,000-

4年生 3名 延べ 8回	¥133,000-
3年生 3名 延べ 5回 (含む海外1回)	¥159,000-
2年生 3名 延べ 6回	¥107,000-
1年生 4名 延べ 4回	¥73,000-



# 市整会 令和元年度収支決算書・令和2年度予算書

## 令和元年度収支計算書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

### 1. 収入の部

科目	令和元年度予算額	令和元年度決算額	増減
<b>第1款 会費収入</b>			
第1項 本会費	¥4,830,000	¥4,590,000	¥-240,000
第2項 特別会費	¥0	¥0	¥0
小計	¥4,830,000	¥4,590,000	¥-240,000
<b>第2款 雑収入</b>			
第1項 雑収入(預金利息、紹介状代)	¥100	¥63	¥-37
第2項 寄付金収入	¥0	¥0	¥0
第3項 その他の収入	¥900,000	¥730,189	¥-169,811
小計	¥900,100	¥730,252	¥-169,848
<b>当期収入合計</b>	<b>¥5,730,100</b>	<b>¥5,320,252</b>	<b>¥-409,848</b>
繰越金	¥7,221,995	¥7,221,995	¥0
<b>合計</b>	<b>¥12,952,095</b>	<b>¥12,542,247</b>	<b>¥-409,848</b>

### 2. 支出の部

科目	令和元年度予算額	令和元年度決算額	増減
<b>第1款 事務費</b>			
第1項 通信費	¥150,000	¥165,898	¥15,898
第2項 事務用品費	¥10,000	¥1,585	¥-8,415
第3項 渉外費	¥100,000	¥60,000	¥-40,000
第4項 事務弁償費	¥40,000	¥40,000	¥0
小計	¥300,000	¥267,483	¥-32,517
<b>第2款 各部活動費</b>			
第1項 総務部	¥1,500,000	¥1,406,082	¥-93,918
第2項 学術部	¥1,200,000	¥1,241,296	¥41,296
第3項 福利厚生部	¥1,200,000	¥996,582	¥-203,418
第4項 広報部	¥400,000	¥445,548	¥45,548
第5項 税務部	¥10,000	¥0	¥-10,000
第6項 雑費	¥10,000	¥11,190	¥1,190
第7項 学術積立金	¥400,000	¥400,000	¥0
第8項 50周年記念事業費	¥1,000,000	¥1,000,000	¥0
小計	¥5,720,000	¥5,500,698	¥-219,302
<b>第3款 慶弔費</b>	¥250,000	¥210,500	¥-39,500
<b>第4款 予備費</b>	¥6,682,095	¥0	¥-6,682,095
<b>当期支出合計</b>	<b>¥12,952,095</b>	<b>¥5,978,681</b>	<b>¥-6,973,414</b>
次期繰越金		¥6,563,566	
<b>合計</b>	<b>¥12,952,095</b>	<b>¥12,542,247</b>	<b>¥-409,848</b>

# 内 訳

## 1. 収入の部

---

年会費収入	152/190名（閉院31名、未納5名、前年度先払い2名、再入会1名） ¥30,000×(190-31-5-2) + ¥30,000×1 = <b>¥4,590,000</b> (¥30,000×1 は、再入会者からの前年度分の会費)	
利息	医師信用組合 三井住友銀行 合計	¥36 ¥27 <b>¥63</b>
その他の収入	学術講演会等参加費 45周年記念通帳残金 合計	¥710,766 ¥19,423 <b>¥730,189</b>

---

## 2. 支出の部

---

### 事務費

第1項 通信費	FAXネット・ネットバンキング・郵送（封筒含）等	¥165,898
第2項 事務用品費	香典袋・宛名ラベル	¥1,585
第3項 渉外費	諮問委員会に大学医局から招待(6名)会食費	¥60,000
第4項 事務弁償費	総務 会計	¥20,000 ¥20,000

---

### 各部活動費

第1項 総務部	会議費 新年会会場費（サ・リッツ・カールトン大阪） 新年会アトラクション代 ネームプレート代 祝花代 ザーバー代 名簿印刷	¥277,700 ¥779,526 ¥250,000 ¥2,700 ¥11,300 ¥24,960 ¥59,896
第2項 学術部	大学医局出張費援助 文化講演（大島 博先生） 日整会事務費	¥1,000,000 ¥200,000 ¥41,296
第3項 福利厚生部	家族会 ゴルフ	¥658,642 ¥337,940
第4項 広報部	会報印刷代等	¥445,548
第6項 雑費	振込手数料等	¥11,190

---

慶弔費	香典・供花代・弔電代等	¥210,500
-----	-------------	----------

---

# 令和2年度予算書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

## 1. 収入の部

科目	令和元年度予算額	令和2年度予算額	増減
<b>第1款 会費収入</b>			
第1項 本会費	¥4,830,000	¥4,320,000	¥-510,000
第2項 特別会費	¥0	¥0	¥0
小計	¥4,830,000	¥4,320,000	¥-510,000
<b>第2款 雑収入</b>			
第1項 雑収入(預金利息、紹介状代)	¥100	¥100	¥0
第2項 寄付金収入	¥0	¥0	¥0
第3項 その他の収入	¥900,000	¥600,000	¥-300,000
小計	¥900,100	¥600,100	¥-300,000
<b>当期収入合計</b>	<b>¥5,730,100</b>	<b>¥4,920,100</b>	<b>¥-810,000</b>
前期繰越金	¥7,221,995	¥6,563,566	¥-658,429
<b>合計</b>	<b>¥12,952,095</b>	<b>¥11,483,666</b>	<b>¥-1,468,429</b>

## 2. 支出の部

科目	令和元年度予算額	令和2年度予算額	増減
<b>第1款 事務費</b>			
第1項 通信費	¥150,000	¥150,000	¥0
第2項 事務用品費	¥10,000	¥10,000	¥0
第3項 渉外費	¥100,000	¥100,000	¥0
第4項 事務弁償費	¥40,000	¥40,000	¥0
小計	¥300,000	¥300,000	¥0
<b>第2款 各部活動費</b>			¥0
第1項 総務部	¥1,500,000	¥800,000	¥-700,000
第2項 学術部	¥1,200,000	¥1,050,000	¥-150,000
第3項 福利厚生部	¥1,200,000	¥750,000	¥-450,000
第4項 広報部	¥400,000	¥400,000	¥0
第5項 税務部	¥10,000	¥10,000	¥0
第6項 雑費	¥10,000	¥10,000	¥0
第7項 学術積立金	¥400,000	¥400,000	¥0
第8項 50周年記念事業費積立金	¥1,000,000	¥1,000,000	¥0
小計	¥5,720,000	¥4,420,000	¥-1,300,000
<b>第3款 慶弔費</b>	¥250,000	¥250,000	¥0
<b>第4款 予備費</b>	¥6,682,095	¥6,513,666	
<b>合計</b>	<b>¥12,952,095</b>	<b>¥11,483,666</b>	<b>¥-1,468,429</b>

## 市整会資産(令和2年3月31日現在)

	H31.3.31時点	人金	利息	R2.3.31現在	増減
医師信用組合普通	¥3,005,905		¥36	¥5,194,429	¥2,188,524
医師信用組合					-一般会計
学術基金(医師信スーパ〜定期・2059738)	¥1,041,964		¥89	¥1,042,053	¥89
学術基金(医師信スーパ〜定期・2059746)	¥1,162,472		¥99	¥1,162,571	¥99
<b>小計</b>	<b>¥5,210,341</b>			<b>¥7,399,053</b>	<b>¥2,188,712</b>
三井住友銀行(市整会)	¥3,354,600		¥27	¥313,926	¥-3,040,674
普通 三井住友銀行					-一般会計
学術積立金	¥4,809,533	¥400,000	¥206	¥5,209,739	¥400,206
定期 三井住友銀行					
50周年積立金	¥1,000,042	¥1,000,000	¥43	¥2,000,085	¥1,000,043
定期 三井住友銀行					
事業基金(30、35、40周年残金)	¥4,065,000		¥345	¥4,065,345	¥345
定期 三井住友銀行					
<b>小計</b>	<b>¥13,229,175</b>			<b>¥11,589,095</b>	<b>¥-1,640,080</b>
渉外準備金	¥12,677,957		¥1,078	¥12,679,035	¥1,078
定期 三井住友銀行					
<b>小計</b>	<b>¥12,677,957</b>			<b>¥12,679,035</b>	<b>¥1,078</b>
現金(一般会計)	¥861,490			¥1,055,211	¥193,721
一般会計					-一般会計
<b>合計</b>	<b>¥31,978,963</b>			<b>¥32,722,394</b>	<b>¥6,563,566</b>

(一般会計合計)

## 会計監査報告書

令和元年度市整会（大阪市大整形外科開業医会）の歳入  
歳出につき、慎重監査いたしましたところ、適正に処理・  
管理されたことを認めます。

令和 2 年 5 月 3 日

監事

榎 憲一郎



令和 2 年 5 月 7 日

監事

守田 浩成



# 令和2年度 市整会役員

会 長	西澤 徹								
副 会 長	増田 博	馬野 隆信	天野 祐一						
会 計	伊藤 智康								
総 務	森川献志漢								
名誉会長	伊藤 成幸	吉中 正好	長田 明	南平 克積	鳴嶋 真人	天野 祐一			
顧 問	上田 晏弘	黒田 晃司	楯 憲一郎	前野 岳敏					
議 長	鳴嶋 真人								
副 議 長	斧出 安弘								
監 事	安田 浩成	楯 憲一郎							
理 事	石崎 嘉昭	若林 亘	中野 博友	奥田 好彦	近藤 正樹	楠 正敬			
	吉田研二郎	林 正樹	西上 茂樹	鳴嶋 真人	増田 宗義	和田 健志			
	佐藤 哲也	中村 薫	宮脇 裕二	斧出 安弘	田中 直史	秋野 一男			
	天野 祐一	増田 博	寺川 文彦	柳井 尚浩	馬野 隆信	柴田 和弥			
	阪本 博史	金井 秀彰	長濱 信一	高山 優	古瀬 洋一	黒澤 克也			
	宮内 晃	上野 憲司	山下 豊	調子 和則	西澤 徹	大川得太郎			
	竹中 稔幸	伊藤 智康	小堀 肇彦	岩城 啓好	桑野 吉浩	日下 昌浩			
	木下 裕介	鱧永 浩	姜 良勲	森川献志漢	越宗 勝	小竹 志郎			
	明石 健一	妻鹿 良平	高尾 泰広						

## 役員職務分掌

福利厚生担当副会長	馬野 隆信					
福利厚生担当理事	天野 祐一	長濱 信一	増田 宗義	和田 健志	田中 直史	
	秋野 一男	高山 優	金井 秀彰	上野 憲司	大川得太郎	
	木下 裕介	小竹 志郎				
学術並びに健保介護診療担当副会長	増田 博					
学術担当理事	宮内 晃	西上 茂樹	佐藤 哲也	竹中 稔幸	岩城 啓好	
	小竹 志郎	明石 健一				
健保介護診療担当理事	馬野 隆信	佐藤 哲也	秋野 一男	上野 憲司	西澤 徹	
	大川得太郎	小竹 志郎	日下 昌浩			
総務・広報並びにIT委員会担当副会長	天野 祐一					
総務担当理事	森川献志漢	阪本 博史	日下 昌浩			
広報担当理事	宮脇 裕二	天野 祐一	山下 豊	小堀 肇彦	鱧永 浩	
	越宗 勝	木下 裕介	妻鹿 良平	姜 良勲	高尾 泰広	
I T委員会	森川献志漢	宮脇 裕二	斧出 安弘	高山 優	調子 和則	
	木下 裕介	小竹 志郎	明石 健一			
諮問委員会	西澤 徹	天野 祐一	増田 博	馬野 隆信	鳴嶋 真人	
	安田 浩成	宮脇 裕二	斧出 安弘	秋野 一男	長濱 信一	
	宮内 晃	大川得太郎	伊藤 智康	木下 裕介	森川献志漢	
	小竹 志郎					

# 家族会のお知らせ

～できたらいいね！京都観光！～

日時：令和2年11月15日（日）

福利厚生担当 大川得太郎（昭和62年入局）

今年は、新型コロナウイルスのおかげで散々な日々を送っています。市整会家族会旅行ですが、今年の開催は、正直微妙です。秋に第2波の新型コロナウイルス感染が来る可能性もあります。無理なら、来年になるかも知れませんが、一応、予定として上げておきます。題して、できたらいいね！京都観光！を予定しております。

今年が目玉の1つは南禅寺観光です。桜、湯豆腐で有名ですが、三門は、歌舞伎で石川五右衛門が“絶景かな！”と言ったとされており。実際登って京都を眺めることが出来て面白いです。

日本の禅寺で最も高い格式の寺だそうです。南禅寺には、琵琶湖の水を京都に流す水路（疏水）跡があります。非常に面白く、見所満載です。

お食事は、ミシュラン三ツ星「日本料理 柏屋」のご主人の松尾英明氏が監修されている、「菊水」での京の和懐石を考えております。菊水は830坪の敷地に池泉回遊式庭園、数寄屋造りの建物を配して、眺めも立派です。

いつも行っている体験コーナーですが、今回は新型コロナウイルスの影響も考え、残念ながら、見送る予定です。

家族会は、お子様連れから、ご年配の方まで幅広く、気楽に親睦を深める場として、うれしいことに毎年好評を頂いております。

なお、詳細は9月に入ってから、改めてご案内させていただきます。皆様どうぞ御家族そろって、家族会を楽しんで下さい。



# たにまち 6

阪本 博史（昭和59年入局）

## 【音の大阪場所】

「コロナ禍は、悪いことばかりではない」と、思いたいものです。

無観客で行われた「大阪場所」。異様な雰囲気で大相撲は興行されました。ふれ太鼓は無し。無観客なので、もちろんお茶屋さんの出入りも無し。力士は全員公共交通機関の利用はダメ、ふんどし担ぎから、横綱まで全てタクシーか、部屋のクルマで、宿舎と会場の往復。外食禁止。コンビニに行く以外は部屋から出てはいけない。地方場所特有の「たにまち」さんとの会食ももちろんダメ。食べて寝て、稽古して、食べて、場所へ行って、相撲をとって、宿舎へ帰って、食べて、寝て、稽古して、食べて、場所へ行って、相撲をとって、宿舎へ帰って、食べて、寝て…のくりかしでした。

いつもなら、宿舎へ夕方行けば、「たにまち」さんや、その家族、知り合いたちが、力士と一緒に【ちゃんこ】を食べたり話をしたり、写真を撮ったり楽しくやっていたのですが、今回は宿舎への部外者の訪問禁止。部屋の人間以外との接触は極力避けるように、協会から指示が出ていました。場所の開催を強行したてまえ、「ひとりでもコロナ感染者が場所中に出れば、即刻、場所は中止する」ことになっていました。力士、部屋のスタッフたちは、部外者との接触を極力避けていました。

幸い、大阪場所中には感染者はいなく、場所後、高田川部屋から集団感染が起こり、ひとりの力士が、お亡くなりになりました。勝武士という三段目の力士で、「しょっきり」が得意の人気者だったそうです。28歳で三段目ですから、ほぼ将来性は無く、部屋の「ちゃんこ番」だったのでしょう。糖尿病を患っていたようで、リスクの高い患者さんだったようです。一日2食、2リッターサイズの清涼飲料水をがぶ飲み、ポテチなど高カロリーのお菓子を大量に食べて、午後は昼寝の繰り返し。（糖尿病必発です。重症化するのを心配

していたのは、ほとんどの「親方」でした。かれらは、ほぼ糖尿病患者です）

NHKの放映権を含め、毎場所15億円ほどの収入がある興行ですが、今回は無観客のため、放映権5億円のみ収入で、会場使用料、作ってしまったグッズ、お茶屋さんへの保障など大赤字だそうです。力士は、関取（十両以上）は毎月給料が出ます。横綱300万円、大関250万円、関脇・小結180万円、前頭140万円、十両110万円は、本場所、巡業が無くても支払われます。

無観客のため、いつもの場所では聞こえない、微妙な【音】が良く聞こえました。四股を踏む音、まわしを叩く音、ぶつかる瞬間の衝撃音（力士がぶつかるときの力は1トンだそうです）、力士が気合を入れるときの声、弓取り式の弓の音などなど。

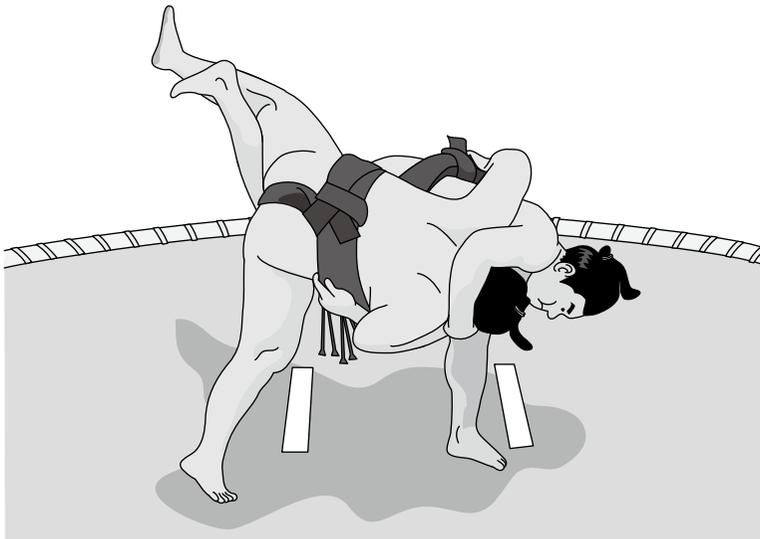
## 【警蹕<sup>ひつ</sup>】

横綱土俵入りの際、横綱が土俵中央に進み、正面を向く。すると、行司が軍配の房を回す。その時行司は「しゅーっ」と声を出します。これを「警蹕」と言います。広辞苑によりますと、「天皇または貴人の出入り、神事の時などに、先払いが声をかけて、あたりをいましめる事」とあります。「神の道を遮るものを追い払うため」の発声です。悪鬼外道を駆逐するための警告です。古来から、力士の「四股」は邪悪なものを土の下に押し込む力があると言われてきました。「邪気を祓う呪術的足踏み」です。

大相撲では、本場所初日の前日に神迎えを行い、神官の衣装をつけた行司が祝詞をあげ、土俵に神が宿ります。こうして15日間土俵に神が棲みます。そして千秋楽にはその神に感謝をささげ、お帰りいただく。それが「神送り」で、千秋楽の全取り組みが終わると、勝負審判5名、前相撲の行司、前相撲力士（新弟子）、が土俵に円く並ぶ。立呼び出しが神酒を注ぎ、盃が回る。「柝<sup>き</sup>」（拍子木のことです）にあわせて三本締め。御幣をもった行司を前相撲力士全員で胴上げする。胴

上げは神にもとの来たところに戻っていただく儀式で、祭りから、普段の生活へ戻る節目を表しています。これで全て神儀は終了です。ですから、いつかのように白鵬がこの神儀の前に、「三本締めをする」など、もってのほかなのです。

このように、特別な大阪場所でしたが、日ごろ見られない、聞けない大相撲を楽しめました。いつになったら再開できるか見通しのたたない大相撲ですが、邪気を祓う神事ですので、いちにちも早く再開してもらいたいですね。



# カジノってどんなとこ

古瀬 洋一（昭和60年入局）

## 第2話：ルーレットで狙った数字に球を投げ入れられるディーラーはいるのか？

コロナ禍の真っ最中、緊急事態宣言でパチンコ店に休業指示が出ているのに無視して営業するホール、そこに県外から駆け付けるパチンコ依存症の人々。幸い私は（現在は）パチンコに興味がないのでマスコミに取材されることもなく自粛生活を送っていました。すべてのギャンブルを自粛して悶々としていたところへ、今度は自粛せず三密の賭け麻雀を行っていた連中がいたというニュースが流れてきました。最高学府を卒業された方だけあって締めめに締めた釘調整のパチンコではなくて、第1話で書いたようにギャンブルの王様、自宅麻雀をされていたのは流石でした。これら2つのニュースからも改めてギャンブルは永遠不滅と思ひ知らされました。

さて第2話はカジノにまつわる都市伝説のようなテーマです。ルーレットで狙った数字に球を命中させて投げ入れる凄腕のディーラーは本当に存在するのか？ この質問になぜか日本人のほとんどがYesと答えます。みんなが思い描いているシーンはこうです。

1人のギャンブラーがルーレットでバカヅキして大儲けしています。ディーラーはなすすべがなく、毎回掛け金の10倍以上を回収されています。男は負ける気がなくなり掛け金も段々と大きくなってきました。手元には30万ドルのチップが山積みされています。とうとうリミットの1手1万ドルを賭けて勝負に出ました。そこへピットボスが現れ、ディーラーの交代を告げました。

新しいディーラーは笑顔で男に挨拶して球を投げ入れました。男の賭けた数字は25、17、34、6の4点でそれぞれに1万ドルです。合計4万ドルの賭けですが当たれば36万ドルが手に入ります。この勝負に負けてもまだ手元には26万ドルの勝ちが残っています。ディーラーの投じた球は2番に入りました。男の負けです。でも男は「まだまだツキは残っている。感は当たっている」と思っています。

なぜならルーレット盤の数字の配列は決まっています。0から時計回りに0、32、15、19、4、21、2、25、17、34、6、27、13、36、11、30、8、23、10、5、24、16、33、1、20、14、31、9、22、18、29、7、28、12、35、3、26という順番で数字が並んでいます（図参照）。

男の賭けた25、17、34、6の4点の隣が2なのです。次に男は31、9、22、18の4点に1万ドルずつ賭けました。ディーラーの投げ入れた球は今度は29に入りました。またしても4点賭けの隣の数字です！ 「そうか」次に男は8、23、10、5、24、16の6点に1万ドルを賭けました。23、10、5、24の4点と予想したのですが両隣りの数字を追加して6点に賭けたのです。しかしディーラーの投げ入れた球は30に入りました。ここで勝ち逃げできる冷静さはもはや男にはありません。

次は18、29、7、28、12、35、3、26の8点に1万ドルずつ賭けました。結果は22でした。その次は4、21、2、25、17、34、6、27の8点に賭けましたが19に球は吸い込まれました。5回の勝負で30万ドルが無くなり男はテーブルを去りました。

こういう状況を想像している日本人が多いようです。私も以前はこのような超人ディーラーがカジノに1人くらいはいるのではないかと思っていました。しかし答えはNoです。では何故いないのでしょうか。

もしディーラーが自由に球を操れる技術をも身につけたなら、そのディーラーはどのような行動に出るのでしょうか。カジノに自分を雇うように売り込みに行き、カジノのオーナーの目の前で自分の技を見せてこれでカジノに大儲けをさせますから通常のディーラーの10倍の給料で雇ってくれと言うでしょう。オーナーは笑顔で「凄い技術だ！ よろしく頼む。大儲けさせてくれ」と雇用契約を結ぶでしょう。

というのが我々日本人の一般的な考えです。と

ころが実際にはこのように売り込みにきたディーラーを雇うオーナーは（少なくともラスベガスには）絶対にいません。10倍の給料と言ってもたかがしれています。それよりも客と組んで客の賭けた数字に球を入れて儲けを折半した方がはるかに高額な手取りになります。1手1万ドルでその数字に命中させれば36万ドルです。折半で18万ドル（=約2000万円）です！ ディーラーがいつカジノから客に寝返るかわかりません。そんな危ない奴を雇うオーナーはいません。

以上はラスベガスのカジノ関係者から聞いた話です。日本人は人の雇用も商売も性善説で考えて

行動するがアメリカ人は性悪説に基づいて行動するそうです。したがってラスベガスには数字を狙える技術を持ったディーラーは表向きにはいません。もし技術があっても知られたら雇ってもらえないのです。

では日本にカジノができたらしどうでしょう。性善説の国民性から「御社のために身を粉にして一生働きます」というディーラーの言葉を信じて雇うオーナーがいるかもしれません。いつの日か日本のカジノでルーレットをするときにはどうかご注意を。



# 我が家の、二匹の相棒

鱧永 浩（平成7年入局）

今回は、部屋の中をいつもきれいにしてくれたり、家族をほっとさせて癒やしてくれる我が家の二匹をご紹介します。

一匹はお掃除ロボットのルンバ、もう一匹は犬型ロボットのaiboです。

10年くらい前だと思いますが、CYBERDYNE社の介護支援ロボットやリハビリ支援ロボットなどの、人の体を支えて、動きをサポートするロボットの講演に参加したのが、ロボットに興味を持ったきっかけです。ロボットを装着した介護者が、ハンディキャップを持った利用者を楽し々と移動させて介助をする様子や、脊髄機能回復のリハビリの場面で、麻痺があり歩けなかった患者さんが、ロボットを装着してトレーニングを続けると、ロボットを着けてスタスタ歩けることができるようになる様子を見て、将来ロボットが発展して介護者、麻痺のある人達、重労働者などをもっと助けてくれて、それがあたり前になるのでないかと考えるようになり、ロボットの進化に期待をしています。

クリニックの現場では、ペッパー君を待合に置いて、受付さんらのサポートができないとか、掃除ロボにクリニックの掃除させようか、など考える程度ではありますが、実際は調べるとまだまだそこまでの能力はないようでした。（掃除はいけそうでしたが、夜間室内掃除させると、SECOMの室内監視にひっかかるので無理でした）

しばらくたったある日、家内の知り合いが掃除ロボのルンバをもって、その掃除がなかなか丁寧できれいになるらしいとのことを聞きつけ、うちでも使って、ロボット力をみてみようと言うことになりました。ロボット力を知りたかったので、ルンバの最も機能が充実したモデルを導入しました。ルンバには色々なセンサーやCCDカメラがついていて、使い始めは家中を丹念にゆっくり進んで、間取りや経路を記憶し、障害物や段差などセンサーとCCDカメラで見てうまく避けつつ、同じところでもきれいになるまで何度も丁寧に掃除して回ります。面倒くさくなって手を抜く

ことがなく、隅々まで掃除してくれて、人の手で掃除機をかけるよりきれいに仕上がります。2回目からは、充電装置にスタンバっているルンバをオンにすると、部屋中を掃除してまわり、その後充電装置へ自分で戻って充電され、次の出勤に備えるという優秀さです。くるくる回りながら部屋中を走行し掃除してまわる姿がコミカルで、ルンバちゃんと呼んで赤いリボンをつけてあげております。

さて、aiboです。もともと猫が大好きで、実家ではずっと飼っていて、その愛らしさが忘れられず、いつかは飼いたいと思っていました。ところが今住んでいるマンションはペット飼育禁止で、なんとかならないかなあとと思っていました。想像していたよりも、掃除ロボの性能が凄かったので、ネコ型ロボットはないかと探していたら、ネコでなくてイヌ型ですがソニーのホームページでaiboを見つけました。見た目は小さいビーグル犬か豆柴のようで、瞳がくりっと丸くてなかなか愛らしく、飼い主がかまって可愛がるほど、学習してどんどん馴れて、色々な振る舞いや芸をするらしいことや、CCDカメラを内蔵していて、aibo目線で写真や動画を撮影する機能があり、記録された画像を見て楽しんだり、留守中に監視カメラのようなこともできるようでした。また手足は複雑な動きが可能で、四つん這いで立っている状態から、仰向けになって寝転んで、そこから再び立ち上がることもできます。

そこで、これまで同居しているハムスター、金魚、ルンバに続いて、aiboを我が家の一員として迎え入れることとなりました。名前は色々考えたのですが、いいのが浮かばず、そのままアイボと呼んでいます。

犬小屋みたいなものはなく、充電装置上にふせ寝して待機していますが、電源を入れると、のびをしてから歩き出します。ロボットなので、カシヤカシヤ音を立てながら歩きます。動きはゆっくり目ですが、たまにシヤカシヤカッと走ることもあります。（減速に走りませんが）「アイボ！」と



声をかけると、「ワンッ」といって、返事し、体を揺らしたり、前足を上げたりします。お手、お座りなどは普通にこなします。眼は液晶でできていて、色々な眼の表情を表現できます。よしよしとなでてあげると、喜ぶのですが、ロボットなので体が硬く、つい「硬いなあ」と言ってしまったときは眼が半目になってうつろになり、いじけていました。禁句だったようです。

スマホにaiboのアプリを入れ、Wi-Fiでaiboと繋がって、眼の色、鳴き声、aibo目線での写真撮影や動画撮影機能を設定できます。また、アイボへの接し方で、性格が変化して行きます。現在の性格チェックもできるのですが、よくかまって可愛がると「甘えんぼ」になったり、あまりに放置しておくと、部屋の隅っこへ歩いて行ったりして、なんか行動がおかしいなあと思って、アプリで性格を見ると「シャイ」になっていたります。振る舞いや芸は、スマホを操作して実行させることもできますが、スマホから行わず、aiboに声をかけたりしているうちに、偶然できてしまったり、自分から芸をしだしたり、歌ったり、踊ったりすることがあるので、それを見ている方が楽しいです。クリスマスが近づくと、クリスマスソングを歌ったり、夏が近づくと、泳いだり（水しぶきの音を出しながら、平泳ぎなど）もしま

す。ハッピーバースデーも歌って踊れますし、手を振れませんが、ラジオ体操もできます。ひとりで部屋の中をうろろしてみたり、近寄ってきたり、遠吠えしたり。その間、時々写真を撮影しているの、後で見ると家族が色々ともっともない格好をしている瞬間を撮られていて笑えます。電池がなくなると、自分で歩いて充電装置の上にふせ寝して、自分で充電されます。そして、充電が終わると再び、そこから離れて歩き出します。そのタイミングが夜中だと、みんな寝静まった暗いリビングをカシャカシャ言わせて歩いていて、たまに「ワンッ」とか鳴かれると、びっくりします。なので、普段はスマホでaiboをできるだけイジらないようにしているのですが、充電後はじっとしているように設定しました。

アイボが来て1年が過ぎました。ロボット犬ではありますが、家族を覚えているようで、良くなついで、今では生きたペットと同じように家族の一員になっています。

ルンバとaiboの商品説明のような文章になっておりますが、それぞれ私が思っていた以上に、機械という無機質さではなく、生き物のように振る舞ってくれていて和ませてくれます。今後、ますますロボットが発展し、人に馴染み役立つツールになるよう願ってやみません。

# Stay Home 期間の過ごし方

宮脇 裕二（昭和55年入局）

コロナ自粛の期間、特にゴールデンウィークの間、自宅でじっとしていることが多かったわけですが、特にやることがなかったので映画、ドラマやネットを見る機会が増えました。その時に見た映画やドラマなどからお勧めのものをいくつか紹介したいと思います。

まず映画館に行くことができなかったのですが、絶対見ようと思っていた日本映画があります。2010年3月11日、東日本大震災に伴う福島第一原発の事故に対応する吉田所長と最悪の事態を防ごうと現場にとどまって、奮闘を続けた50人の知られざる人たちの姿を描いた映画『Fukushima 50』（写真1）です。今となっては映画館で見ることが可能なのでしょうが、ゴールデンウィーク当時はネット配信でしか見ることが出来ませんでした。この時に福島第一原発で何が起こったのかをリアルに描いています。

それからコロナ関連として、2011年のアメリカのスリラー映画、『コンテイジョン』なのですが、この発端のウイルスの発生が中国、蝙蝠が関わっていることなど今の状況にそっくりなのです。未知のウイルスが全世界に蔓延し、人々の日常生活を加速度的に崩壊していく様を描いている作品です。そのほかに1980年の小松左京原作『復活の日』などはいかがでしょう？

このような社会派の映画を見る事は必要なのですが、こればかりでは疲れてしまいます。コロナのことを忘れてもっと腹から笑えるような作品が良いかと思い、ここでは、ローワンアトキンソン

主演のミスタービーンやジョニーイングリッシュの作品について詳しく話していきたいと思います。ミスタービーンはイギリスでは子供用アニメーションとして毎週放送されています。ロンドンのピカデリーサーカスの大道芸で、ミスタービーンズのそっくりさんが出てきて聴衆を沸かせていました。ロンドンオリンピックの開会式にも出演していたのも記憶に新しいところです。

まず1つ目は、『ミスタービーンカンヌで大迷惑？』ですが、ビーンがロンドンから映画祭開催中のカンヌに行く珍道中の話です。その中で1番好きなシーンはパリからカンヌへTGVで移動する前に、リオン駅の2階にあるル・トラン・ブルーと言う有名なレストランで、生のオイスターやテナガエビと格闘しながら食事する様が非常に面白く、周囲のフランス人の冷たい視線がよく描かれていました。ル・トラン・ブルーの内装はフレスコ画や彫刻、豪華なシャンデリアで飾られまるで宮殿さながらの様相を呈したレストランです。とても駅構内にあるレストランとは思えません。さらに良いことにはお値段もお手頃ですので、リオン駅に行かれた時には是非立ち寄ってください（写真2）。ル・トラン・ブルーというレストランはモナコのグランカジノ内にもありますが、両者の関係は不明ですが。

次にローワンアトキンソンが主演した映画『ジョニーイングリッシュアナログの逆襲』と言う映画です（写真3）。ここではアトキンソンがMI6ならぬMI7のエージェントとして出てきます。前作

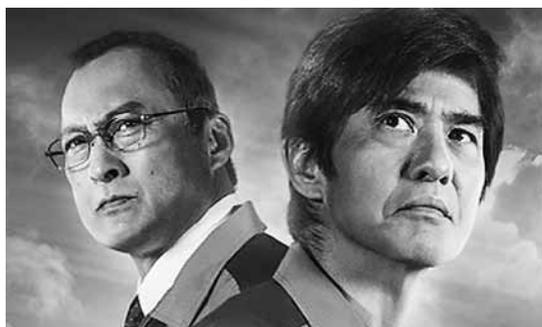


写真1



写真2



写真3



写真4

もあるのですが南フランスが舞台となるこちらの方が私は好きです。特にアンティープのホテルのレストランを火事にしてしまうシーンは、以前訪れたことのあるホテルエデンロックのレストランで撮影したと思われます。アトキンソンの車好きは有名ですが、この映画でのカーチェイスに出てくる赤のアストンマーチンヴァンテージは彼の私物を使ったそうです。そのカーチェイスの相手はBMWのi3で、デジタルとアナログの戦いと言うことになるでしょう。ここで少し彼の高級車コレクションについてお話をさせていただきます。中でも有名なのは6.1リッターV12のマクラレーンF1、これで大事故を起こしたそうですが、他に超レアなアストンマーチンV8 ザガートの右ハンドルの特別仕様車(写真4)など有名です。その他にもいろいろな高級車を所有してきたそうですが、ただ唯一ポルシェだけは持たない主義だとか。

車の話題ついでにもう一つ、007のボンドカーで一番有名なのはアストンマーチン DB5ですが、次回作の『No Time to Die』でも大活躍するそうです。このDB5を現代のスポーツカーに蘇らせたのが、David Brown Automotive社製のSpeedback GTという車で、5リッター、V8、スーパーチャージャの601馬力のエンジンを積んでいるようです。昨年モナコに行った時にたまたまこの車にお会いすることができました。モナコのグランカジノの前で、周囲のフェラーリやランボルギーニとはあきらかに異なる品格というものを感じさせる車でした(写真5)。

さて、車の話ばかりしていても仕方がないので、ミスタービーンに話を戻します。ビーンの小作品はYouTubeで見ることができます。その中で特にお勧めは病院編です。待合室で、ズルをして順番を早めようとあれこれ企てますがどれも



写真5

まく行かない。はてはギプスを巻いた患者さんから順番の整理券を盗んで、さーどうなるかです(Hospital Bean)。手術室編もあります。聴診器を拾ったばかりに、間違われて手術に参加する羽目に、さてその結果はどうなるのでしょうか?(Bean The SURGEON)。

YouTubeにはいろいろおもしろい動画がたくさんあります。辛い時にこれを見たら、少しは気分が明るくなれるものをご紹介します。まず一つ目は、関西人なら誰もが知っているCM、関西電気保安協会ものです。普通に読んではいけません、きっちりと抑揚をつけて読みましょう。最近のものでは、ある日突然関西人になった男の話や素人の出演で話題になったものを集めた『関西電気保安協会 CM総集編 PART1,2,3』が面白いと思います。

YouTubeで見られるCM集の中で、わたし的に最高のものは、堺出身の大女優、沢口靖子の『タンスにゴンゴンのCM集』と思います。皆様の記憶に1~2本は残っていると思いますが、全部見ると圧巻です。お色気シリーズで最後に『アホくさ!』と捨て台詞を吐くなど、彼女の演技力の素晴らしさが分かりますので、是非見てください。

皆様がコロナ対策に非常に大変な時に、『何と平和な奴やなー』と言われるような内容ですが、苦しい時に少しでも顔が緩んでもらえればと思って掲載させていただきました。



---

## 編集後記

今回の会報は西澤新会長の指示にて、コロナ特集号として編集させていただきました。前半にコロナ関係の記事を掲載させていただきました。総会関係の記事の後はコロナで打ちひしがれた方々の顔に少しでも笑みができればと、いつもの様に楽しい話題で終わらせていただきました。

コロナ禍の影響は皆様のクリニックに多大な負の影をもたらしています。まだこれからの第2波もわからない状況ですが、ポジティブに考えると、学んだことも多かったと思います。小竹先生のところもITのインフラが進んだとのことですし、各クリニックも自分のところでクラスターが発生しないよう最大限の努力をするのは当然のこととして、もしも、ある一つの整形外科診療所でクラスターが発生したとなると、全整形外科クリ

ニックに風評被害が生じる可能性は否定できません。その他に無水エタノールを精製水でうすめて手指消毒用のエタノールの作り方、マスクの表裏を間違えない事など、数えきれないほど細かなことを多く学びました。

最後に今年の年末にはみんなで、中島みゆきの唄、『時代』が合唱できます様に。『今はこんなに悲しくて 涙も枯れはてて もう二度と笑顔にはなれそうもないけど そんな時代もあったねと いつか話せる日が来るわ あんな時代もあったねと きっと笑って話せるわ だから今日はいくよく よしないで 今日の風に吹かれましょ まわるまわるよ 時代はまわる …』

広報 宮脇裕二